

大迫 研究成果報告レター

(健康づくりフロンティア事業) Vol.5 (2024年3月作成)



OHASAMA STUDY
SINCE 1986
LONGITUDINAL COHORT STUDY FOR
THE HOME BLOOD PRESSURE IN OHASAMA, JAPAN

2023年度の健康づくりフロンティア事業

2023年度の健康づくりフロンティア事業は、新型コロナウイルス流行以前と同様の検査項目を全て実施できました。本事業は現在、第11期目に入っています。これも住民の方々のご理解とご協力の賜物です。今後もご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

大学の取り組み(大迫研究の成果)



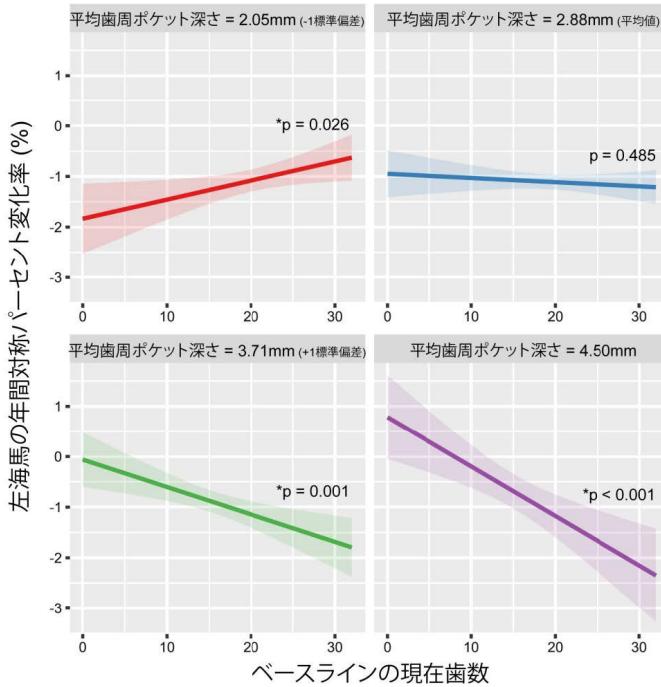
皆様から頂いたデータを大学で集計し、現在も様々な成果を上げております。これらの成果は日本のみならず海外にも発信され、世界の健康維持につながっております。

なお、現在も、帝京大学が中心となり、東北大学、東北医科薬科大学、そして秋田大学などのその他多くの大学機関の協力も得て継続しております。

「健康な歯」を多く残しましょう!

MRIセット検査（家庭血圧測定のオプション検査）では歯科検診も実施しています。今回これらのデータから、歯周病が軽度であれば歯が少ないほど、歯周病が重度では逆に歯が多いほど脳の一部(左海馬)で萎縮が速いことを明らかにしました。歯を抜かずに残すことが重要視される昨今、重度歯周病の歯を残すことが“記憶”に大きく関わるとされる海馬の萎縮を速めるという本研究の結果は、認知症予防の考え方には大きな影響を与える可能性があります。

単に歯を残すのではなく、“健康な”歯を多く残すことが大事です。そのためにも定期的に歯科を受診して正しい口腔ケアを行いましょう。



平均歯周ポケットの深さ
値が大きいほど歯周病が重度（赤<青<緑<紫）
縦軸
海馬の変化率、下にいくほど萎縮が速いことを示す
横軸
歯の本数（0～32本）

グラフの傾きが左下がりの場合(赤)は歯数が少ないほど、右下がりの場合(緑、紫)は歯の本数が多いほど萎縮速度が速いことを示しています。

*統計学的に有意な傾き（偏回帰係数）（P<0.05）

図. 歯周病の4つの重症度における歯数と左海馬萎縮速度との関連

Yamaguchi S, et al. Neurology.
2023 Sep 5;101(10):e1056-e1068.

大迫研究のホームページができました!



大迫研究のホームページを新規に開設しました。
家庭血圧の測定方法やスケジュールを公開しておりますので、ぜひご活用ください。

URL: <https://ohasama-study.jp>

こちらのQRコードからもアクセスできます→



新機材を導入しました!

今年度から新規に超音波画像診断装置(Versana Active)を導入しました。自動計測機能により、簡単かつ正確に血管壁の厚みを計測できるようになりました。



画像出典:GE Health Care

大迫研究関係者からのご挨拶

大迫研究 代表責任者より

大迫町で家庭血圧測定を開始して35年以上が経過しています。健康づくりフロンティア事業を通じて、皆様の健康増進に努めておりますが、まだまだ血圧が高い方がたくさんいるようです。様々な検査も受けられますので、案内が来た方は本事業へのご参加を是非ご検討ください。

帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座
主任教授 大久保 孝義
(おおくぼ たかよし)



今井 潤先生より



本事業ならびに大迫研究へご協力いただき、大迫町住民の方々には心より感謝いたしております。今後も診療を通じて大迫町の皆様の健康増進に貢献してまいりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

一般社団法人 東北血圧管理協会 理事長 今井 潤
(いまい ゆたか)